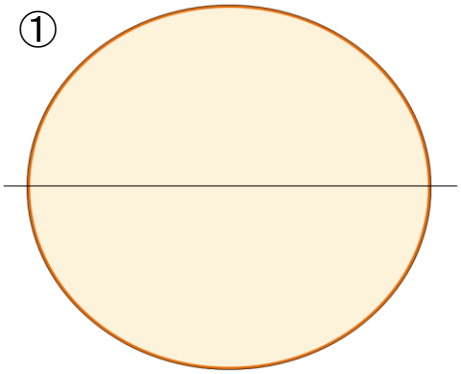
丸 籐 の 加 工

2016年6月7日

菅　勇二

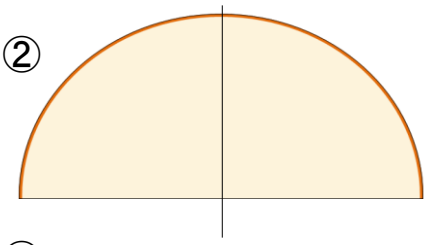
①



最初の準備段階で、丸籐の節を削る
　木工用ヤスリ等を使って、節を削って平らにします。
　　（⑦ で、厚みを揃える時に節の部分が凸凹しないため）

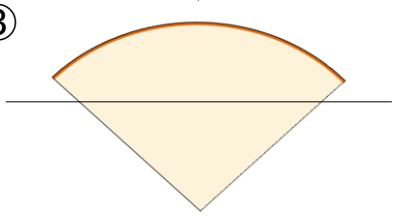
丸籐を「なた」で、二等分します。
　最初の切り込みは、正確に二分されるように注意して下さい。
　　（籐は鋭いので、必ず手袋を着用のこと）

②



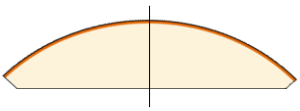
更に、半分に割いて、四等分します。
　最初の切り込みは、注意深く、正確にしましょう。

③



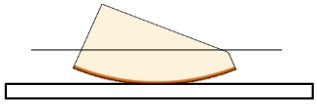
四等分した籐の身の部分を「なた」で割くか、くり小刀で削ります
　（④で割きやすいように、平らな皮付き籐を作ります）

④



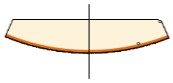
更に、二等分または三等分します。
　皮付き籐のまま、所要幅の1.5倍程度の幅に割きます。

⑤



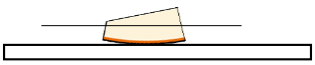
「せんがけ」で平らな皮付き籐をつくります
　竹べら等を使って、浮き上がらないようにして下さい

⑥



「なた」で、更に、二等分または三等分します。

⑦



「せんがけ」を2～3回通して、所要の厚み＋0.2㎜にします。
　（所要の厚み＝仕上がり巾の　約1／2）
　竹べら等を使って、浮き上がらないようにして下さい
　　（最も大事な工程ですので、細心の注意を払って下さい）

⑧

幅を揃える
　「幅ぎめ」を2回くらい通して、所要の幅に揃えます。
　　一度に削らないで、数回に分けて、徐々に削りましょう。

⑨

「せんがけ」で、皮を引く
　「チリチリ」と同じ音が出れば成功です。
　　音が消えたところは皮が残っているか、削り過ぎです。

⑩

面を取ります。

⑪

布やすり等を使って、表面を仕上げて完成です。

（注）薄く染めると残った皮が、染まらずに浮き上がりますので、その部分を、「くり小刀」で皮を剥ぎます。